

第41回都市有害生物管理学会年次大会

編集委員会

都市有害生物管理学会は、「建造物を荒らすシロアリに対して著名な指導者であり、慶應義塾大学教授、日本シロアリ対策協会会長であった森八郎博士によって1973年に「日本家屋害虫学会」として創設されました。

それ以来、住宅や食品工場などにおけるシロアリ被害に対しての研究者と燻蒸業者たちとの産学合同による研究の場となっています。また文化財や国宝級の神社や仏閣、それから博物館や図書館に収納されている資料に対する害虫・カビ対策・駆除も森八郎博士が専門とした業務でありました。正倉院御物や、中尊寺に収められている藤原家三代のミイラも、森八郎博士らによった技術で、害虫やカビの被害から守られて、今に伝えられています。都市有害生物管理学会創設以来、絶えることなく毎年、大会を開催して時代を先行した情報交換の場ともなっていて活動しております。」(ホームページより)

今回の大会は、「会場に集合しての開催は中止して、要旨集の発行・配付を持っての開催とする」ことに決定いたしました。宮ノ下会長から、全会員、参加者全員、ホームページ、業界新聞に、当学会の大会・総会の中止する旨を急告知されました。

特別講演：トコジラミ類の現状とマスコミ対応の苦労話

小松謙之(シー・アイ・シー)

一般講演・ポスター

- ・東京都で採集されたサツマゴキブリとわが国の分布
小松謙之(シー・アイ・シー)
- ・ノシメマダラメイガの侵入経路に対する小型トラップとクモの影響
辻 英明(環境生物研究会)
- ・六本木の路上で継続して確認されたワモンゴキブリについて
中野敬一(東京都港区)
- ・CA処理による貯蔵食品害虫の穀卵効果
宮ノ下明大(農研機構食品研究部門)
- ・タバコシバンムシ用交信攪乱資材の食品工場での利用
菅野格朗(環境機器)

- ・ 温湿度がタバコシバンムシの捕獲効果に及ぼす影響
木村悟朗(イカリ消毒)
- ・ クモ用エアゾール(有効成分シフルトリン)の造巣防止効果とセアカゴケグモに対する殺虫効果
富岡康浩(イカリ消毒)
- ・ コウモリいやがる袋とスーパーコウモリジェットの忌避効果
田中和之(イカリ消毒)
- ・ 穀物貯蔵倉庫におけるフェロモントラップを用いたコクゾウムシ成虫の捕獲調査
今村太郎(農研機構食品研究部門)
- ・ カカオ豆、カカオニブ、カカオマスにおけるノシメマダラメイガの発育
宮ノ下明大(農研機構食品研究部門)
- ・ 博物館における密閉保存ケースの新しい開発～保存の現状と開発の経緯～
亀山善弘(亀山工業)
- ・ 都内ホテルにおけるネッタイトコジラミの防除事例
佐々木 健(アペックス産業)
- ・ 衣類ケアへのIPM導入
浦上裕次(白元アース)
- ・ 博物館における密閉保存ケースの新しい開発
吉川辰美(MUSIサイエンス)

